

2015年度 決算説明会

2016年4月27日

株式会社アドバンテスト

ご注意

◆会計基準

このスライドに記載されている2015年度までの実績、および2016年度見通しは、米国会計基準に基づいて作成しています。
なお、当社は2015年度の有価証券報告書から国際会計基準(IFRS)を任意適用する予定です。

◆将来の見通しに関する記述について

本プレゼンテーション資料およびアドバンテスト代表者が口頭にて提供する情報には、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。
これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。

ADVANTEST.

2015年度 決算報告

(2016年3月31日に終了した1年間)

取締役 兼 常務執行役員
中村 弘志

2015年度業績概要

(億円)

	2014年度	2015年度			
		1月時点 予想	実績	前年度比	
				増減額	増減率
受注高	1,763	1,500	1,515	-249	-14.1%
売上高	1,633	1,600	1,625	-9	-0.5%
売上総利益	904	-	920	+15	+1.7%
営業利益	146	105	119	-27	-18.6%
営業利益率	9.0%	6.6%	7.3%	-1.7pts	
税引前純利益	189	108	114	-74	-39.3%
当期純利益	129	67	79	-50	-38.7%
当期純利益率	7.9%	4.2%	4.9%	-3.0pts	
受注残	450	350	340	-110	-24.5%

ADVANTEST.

2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

4

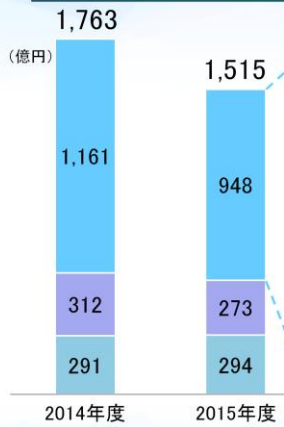
○ 2015年度 通期業績概要

- 受注高 1,515億円 前年度比 14.1%減
- 売上高 1,625億円 前年度比 0.5%減
- 営業利益 119億円 前年度比 18.6%減
- 税引前当期純利益 114億円 前年度比 39.3%減
- 当期純利益 79億円 前年度比 38.7%減
- パソコンやスマホ減速など市況悪化を受け受注高は減少したが、前年度並みの売上高を確保

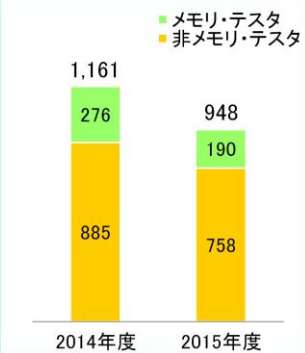
○ 受注残 340億円

2015年度受注高実績

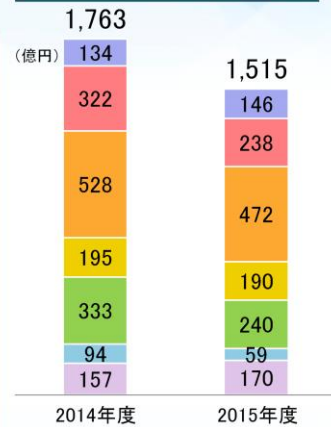
【事業セグメント別】



【半導体・部品テストシステム内訳】



【地域別】



■ 半導体・部品テストシステム
■ メカトロニクス関連
■ サービス他

■ 日本 ■ 韓国 ■ 台湾
■ 中国 ■ 米州 ■ 欧州
■ その他

※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2016/4/27

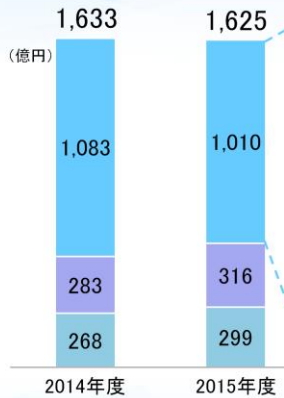
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

5

- 事業セグメント別、地域別の通期受注実績
- 半導体・部品テストシステム事業
 - ・ 前年度比18%減 948億円
 - ・ パソコン市場の縮小、ハイエンド・スマートフォン販売減速の影響を受けた
 - ・ ミッド/ローエンドのスマートフォン関連需要や、中国などでの4G基地局網増強に関連した需要は堅調
- メカトロニクス関連事業
 - ・ 前年度比13%減 273億円
 - ・ ハイエンド・スマートフォン減速に伴いハンドラやデバイス・インタフェースへの需要も軟化
- サービス他事業
 - ・ 前年度横ばい 294億円
- 地域別
 - ・ パソコン、スマートフォンに関連深い半導体企業が多い米州、韓国、台湾で減少

2015年度売上高実績

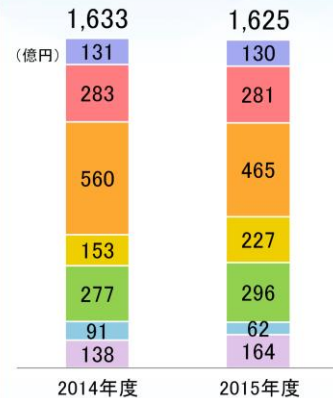
【事業セグメント別】



【半導体・部品テストシステム内訳】



【地域別】



■ 半導体・部品テストシステム
■ メカトロニクス関連
■ サービス他

■ 日本 ■ 韓国 ■ 台湾
■ 中国 ■ 米国 ■ 欧州
■ その他

※合計にはセグメント間の内部取引の消去分が含まれます

ADVANTEST.

2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

6

- 事業セグメント別、地域別の通期売上実績
- 半導体・部品テストシステム事業
 - ・ 前年度比7%減 1,010億円
 - ・ 年度前半にメモリテスト投資が伸びたが、全体的にはパソコン、スマートフォン需要鈍化の影響を受けた
- メカトロニクス関連事業
 - ・ 前年度比12%増 316億円
 - ・ 半導体・部品テストシステム同様に、年度前半にメモリ・テスト投資と連動しデバイス・インタフェース需要が伸びた
- サービス他事業
 - ・ 前年度比12%増 299億円
 - ・ SSDテスト事業の増収
- 地域別
 - ・ スマートフォンに関連深い半導体企業が特に多い台湾が目立って減少
 - ・ メモリ・テスト需要が伸びた中国で増加

業績概要 四半期別

(億円)

	2015年度							
	1Q	2Q	3Q	実績	4Q			
					前期比		前年同期比	
				増減額	増減率	増減額	増減率	
受注高	440	271	398	406	+7	+1.9%	-97	-19.3%
売上高	403	464	299	459	+158	+52.8%	+24	+5.5%
売上総利益	226	244	180	270	+90	+50.1%	+32	+13.2%
営業利益	27	40	-5	57	+63	-	+9	+19.4%
税引前純利益	28	35	2	49	+48	31.1倍	-6	-10.3%
当期純利益	19	25	-8	43	+51	-	+6	+16.4%
受注残	487	294	392	340	-53	-13.4%	-110	-24.5%

ADVANTEST.

2016/4/27

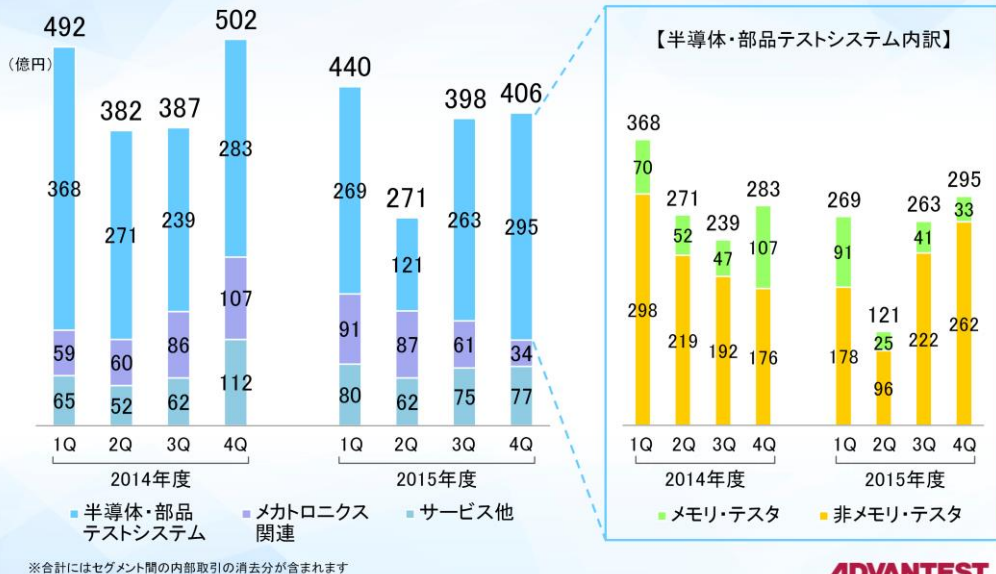
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

7

○ 2015年度第4四半期の業績概要

- 受注高 406億円 前期比 1.9%増
- 売上高 459億円 前期比 52.8%増
- 営業利益 57億円 前期比 63億円増加
- 税引前純利益 49億円 前期比 31倍
- 当期純利益 43億円 前期比 51億円増加
- 非メモリ半導体用のテスト需要が伸び、受注増、売上増
- 受注残 340億円 前期比 53億円減少

四半期別受注高 事業セグメント別



2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

8

○ 2015年度第4四半期の事業セグメント別受注高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- 前期比 12%増 295億円
うち非メモリ・テスト 262億円
メモリ・テスト 33億円
- 非メモリ・テストは、ミッド/ローエンドスマートフォン関連の需要を取り込み、前期を超過
- メモリ・テストは、ハイエンド・スマートフォン販売に盛り上がりを欠いていることで、テスト投資が伸びなかった

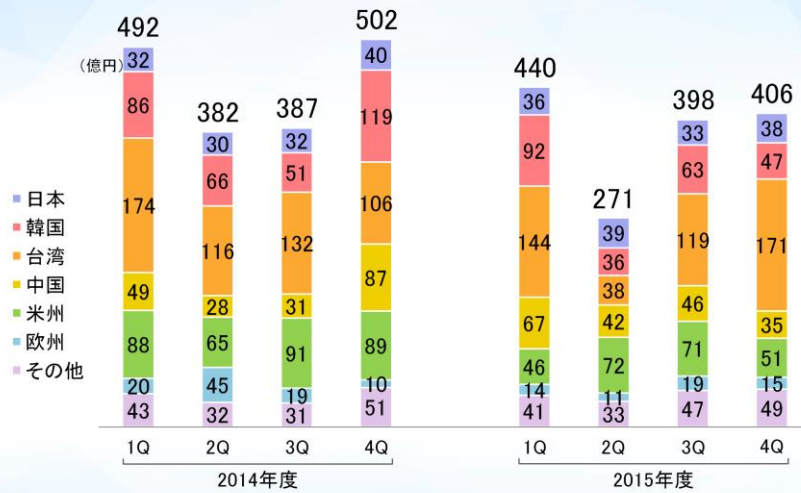
○ メカトロニクス関連事業

- 前期比 44%減 34億円
- メモリ・テスト投資の伸び悩みを受け、デバイス・インタフェース事業の受注減少
- ナノテクノロジー事業の新規受注も落ち込む

○ サービス他事業

- 前期比 3%増 77億円

四半期別受注高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2016/4/27

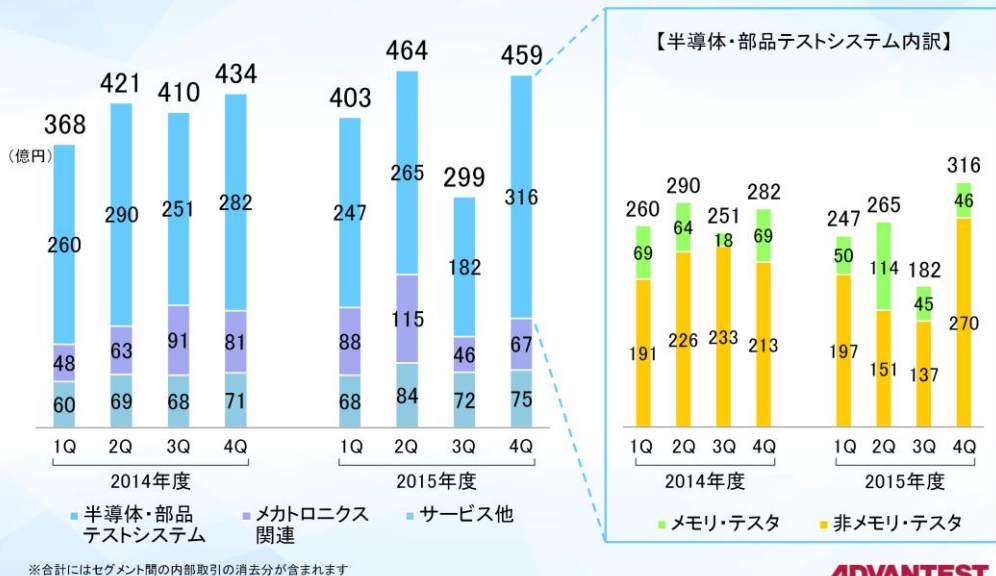
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

9

○ 2015年度第4四半期の地域別受注高

- 台湾
アプリケーション・プロセッサ向けなど、
非メモリ・テストの需要が伸びた
- 韓国
メモリ・テスト需要が減少

四半期別売上高 事業セグメント別



ADVANTEST.

2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

10

○ 2015年度第4四半期の事業セグメント別売上高

○ 半導体・部品テストシステム事業

- 前期比 74%増 316億円
うち非メモリ・テスト 270億円
メモリ・テスト 46億円
- 非メモリ・テストは、3Qから4Qにかけてのミッド/ローエンドスマートフォン関連の需要の伸びを受け、大きく伸長。とくに主力製品「V93000」が貢献
- メモリ・テストは伸び悩む

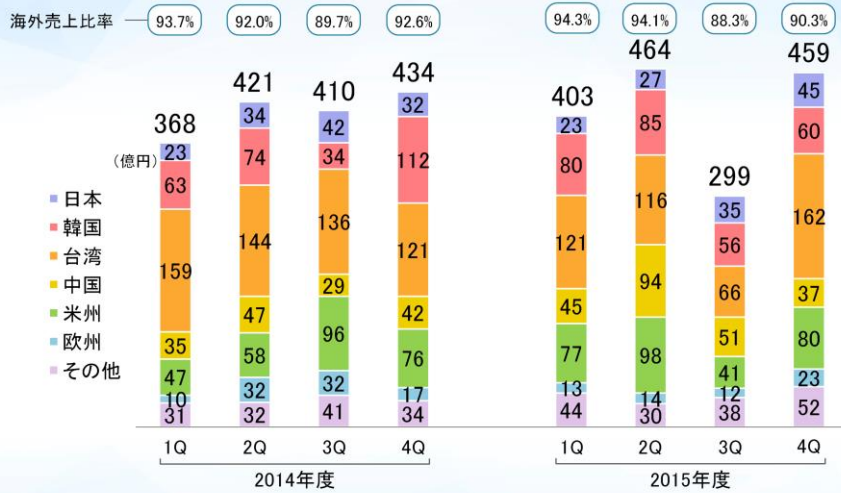
○ メカトロニクス関連事業

- 前期比 47%増 67億円
- ナノテクノロジー事業、ハンドラ事業が前期比増

○ サービス他事業

- 前期比 4%増 75億円

四半期別売上高 地域(出荷先)別



ADVANTEST.

2016/4/27

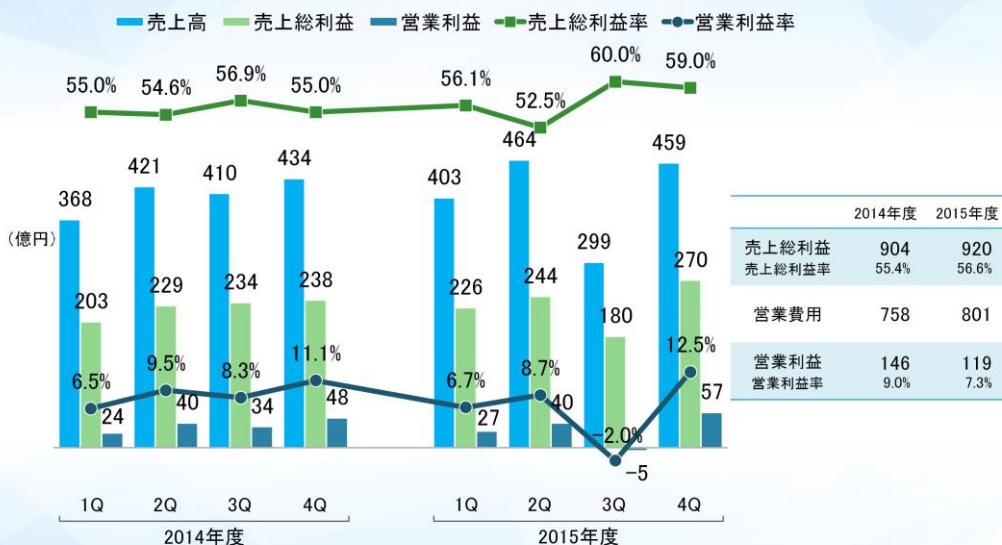
All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

11

○ 2015年度第4四半期の地域別売上高

- 台湾
スマートフォン関連の半導体の需要が盛り上がる
- 米州
非メモリ・テストやハンドラが伸びた
- これらの結果、海外売上比率 90.3%

売上高/売上総利益/営業利益



ADVANTEST.

2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

12

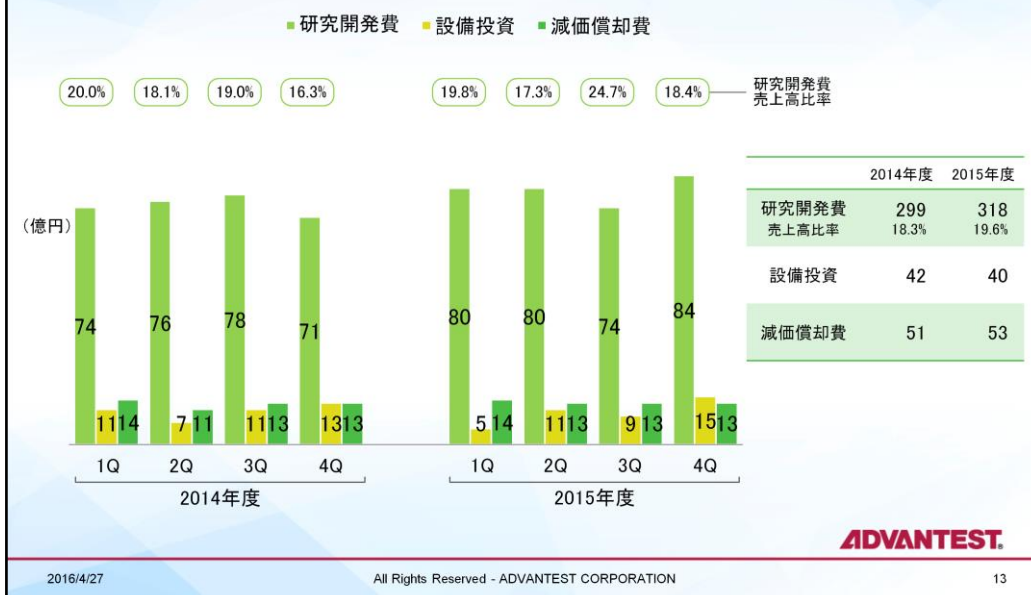
○ 2015年度第4四半期の営業損益等

- 売上総利益 前期比 90億円増 270億円
- 売上総利益率 前期比1ポイント悪化 59.0%
好結果だった3Qに引き続き、高水準を保てた
2四半期連続60%近い水準
- 営業費用 前期比27億円増 213億円
4Qの利益回復に応じた賞与引当金の増加など
- 営業利益 前期比63億円改善 57億円
- 営業利益率 12.5%

○ 2015年度通期の営業損益等

- 売上総利益率 前年度の55.4%から1.2ポイント改善 56.6%
- 営業費用 前年度比 43億円増 801億円
円安による販管費増、新規分野への研究開発投資増による
- 営業利益 前年度比 27億円減 119億円
- 営業利益率 7.3%

研究開発費/設備投資/減価償却費



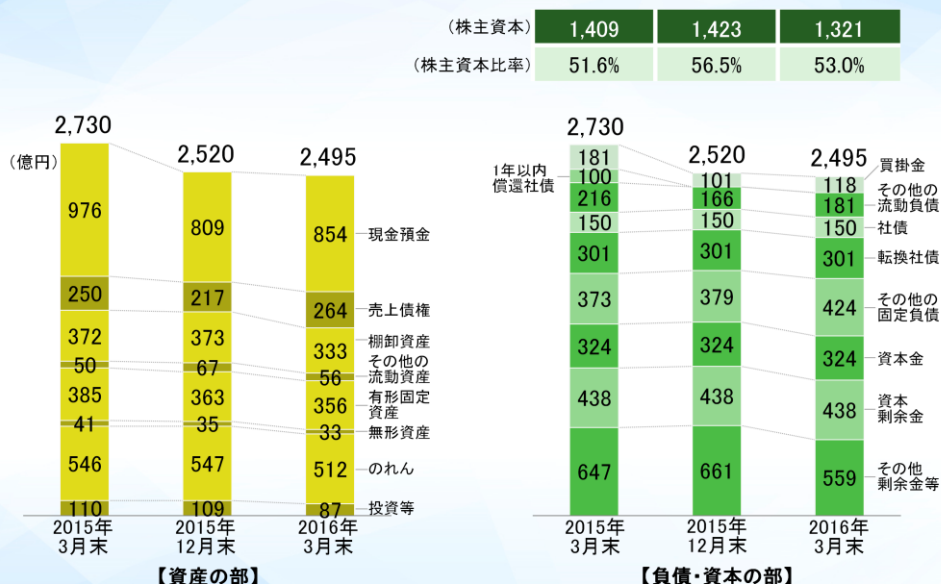
○ 2015年度第4四半期の研究開発費等

- 研究開発費 84億円
- 設備投資 15億円
- 減価償却費 13億円

○ 2015年度通期の研究開発費等

- 研究開発費 318億円
先ほどのとおり、新規分野への研究開発投資増による
- 設備投資 40億円
- 減価償却費 53億円
- 通期にわたり、不要不急の設備投資を抑制

バランス・シート



ADVANTEST.

2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

14

○ 2016年3月末時点のバランス・シート

○ 資産の部

- ・ 現金預金
前期末比 45億円増 854億円
- ・ 売上債権
前期末比 47億円増 264億円
- ・ のれん
前期末比 35億円減 512億円
円高によるもの
- ・ 総資産
前期末比 25億円減 2,495億円

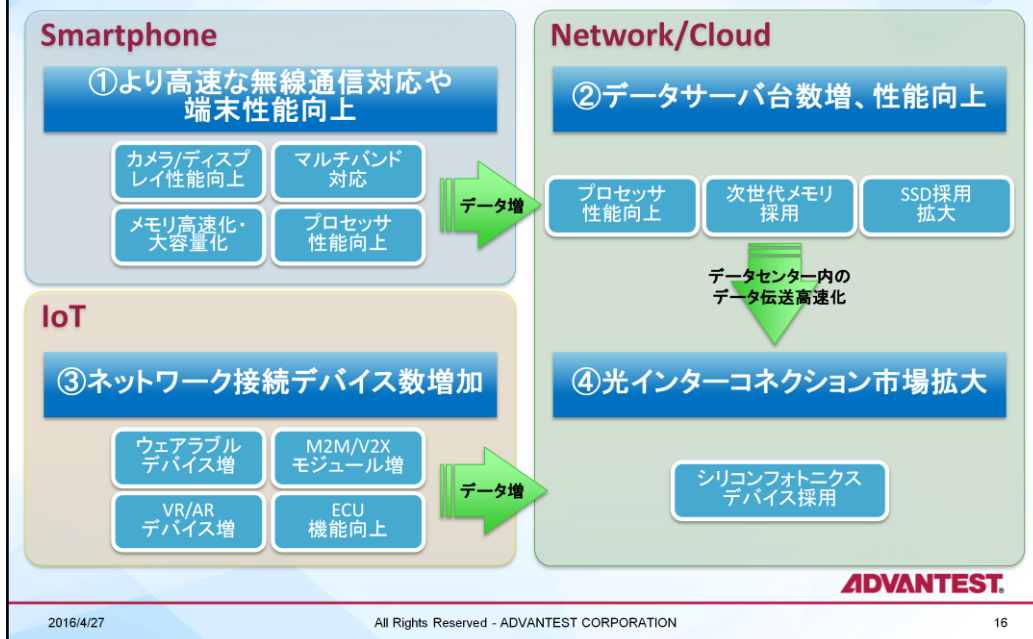
○ 負債・資本の部

- ・ その他固定負債
前期末比 46億円増 424億円
長期国債利率の低下などに伴う退職給付積立金の増加
- ・ 株主資本 1,321億円
- ・ 株主資本比率
前期末比 3.5ポイント減 53.0%

**今後のテスト市場へのビジョン
および
2016年度事業見通し**

**代表取締役 兼 執行役員社長
黒江 真一郎**

テストを取り巻く今後の市場変化



○ テストを取り巻く今後の市場変化

- 今期の事業見通しを説明する前に、中期的な事業環境の動向を、どう判断しているか、説明したい。
- まず、携帯電話の高速データ通信が、新興国では2Gから3Gへ、日米欧や中韓では5Gへ移行し、WiFiもさらなる高速化が進むと予測しています。
- デジタルデータ増加に追随するため、クラウドストレージでは高速プロトコルに対応した大容量SSDの普及が進み、ストレージ・クラス・メモリ向け次世代メモリの採用拡大も始まり、高速メモリテスト、高速プロトコルテストに対するシェア拡大を見込んでいます。
- ウェアラブルデバイス、M2MやV2X用モジュール、バーチャル・リアリティ（VR）や拡張現実（AR）関連デバイスなど、多数のIoTデバイスがネットワーク接続され、デジタルデータ増加をもたらします。その結果、デバイス全体のコネクティビティと信頼性を担保するために、IoTデバイスには、システムレベルテストなど、従来のチップテストの域を超える包括的なテストソリューション提供が求められ、事業拡大に貢献すると思われます。
- そしてIoT世界のクラウド環境を支えるネットワークに、技術革新が起き、高速データ伝送と消費電力削減のため、大規模データセンター内のデータ伝送はこれまでの電気信号から、シリコンフォトリソグラフィを使った光ネットワークや光デバイス、光伝送が担うようになる。
- これらが、2020年までにテスト市場に起きそうな事業機会であり、それらに向けた差別化されたソリューションを提供すべく、R&Dマネジメントをしていく予定です。

2016年度業績予想

	2015年度 実績	2016年度 予想	前年度比 増減額	前年度比 増減率
受注高	1,515	1,580	+65	+4.3%
受注残	340	360	+20	+5.9%
売上高	1,625	1,560	-65	-4.0%
営業利益	119	100	-19	-16.0%
営業利益率	7.3%	6.4%	-0.9pts	
税引前当期純利益	114	100	-14	-12.6%
当期純利益	79	75	-4	-5.5%
当期純利益率	4.9%	4.8%	-0.1pts	

✓ 2016年度予想の為替前提: 1米ドル: 110円、1ユーロ: 120円
(前年度実績: 1米ドル: 121円、1ユーロ: 133円)

ADVANTEST.

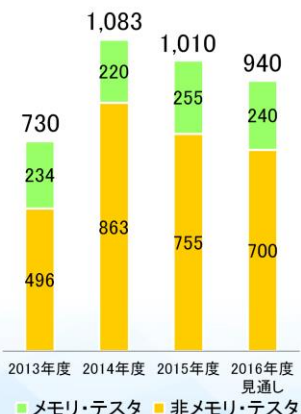
○ 2016年度の業績予想について

- 2016年度の業績予想は、
 - 受注高 1,580億円
 - 売上高 1,560億円
 - 営業利益 100億円
 - 当期純利益 75億円
- 2016年度業績予想の為替前提は1米ドル=110円、1ユーロ=120円 です。

各事業の見通し

■ 半導体・部品テストシステム事業

半導体・部品テストシステム事業
売上高推移 (億円)



2013年度 2014年度 2015年度 2016年度
見通し

■ メモリ・テスト ■ 非メモリ・テスト

非メモリ・テスト

- ✓ 当社非メモリ・テストの新規顧客拡大が続く
- ✓ 新興国スマートフォン市場の成長に伴った関連サプライチェーンからの堅調な需要を見込む

メモリ・テスト

- ✓ DRAM/NANDの微細化、高速化、容量増に伴う追加テスト投資を見込める環境
- ✓ 特にNAND向けテスト投資に期待

ADVANTEST.

2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

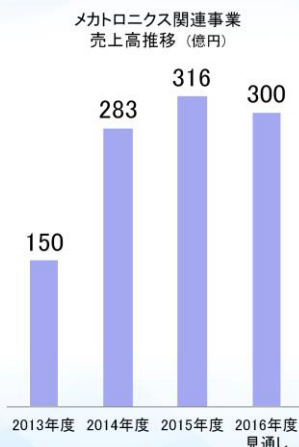
18

○ 半導体・部品テストシステム事業の見通し

- 当社の非メモリ・テスト事業の最大の強みは顧客ベースの幅広さであり、新規顧客の拡大が毎年継続しています。
- ここ数年同様、今期もスマートフォンの販売動向がテスト需要を左右する構造が続くなか、幅広い顧客層により、ハイエンド・スマホ、ミッド/ローエンド・スマホの市場確保ができ、当社、非メモリ・テスト事業には恩恵となります。
- 業績としては円高影響により前期比減収となる予想ですが、前期に続き今期も中国、インド、東南アジア、ブラジルのスマートフォン・マーケット関連のサプライチェーン中心に堅調な需要を見込んでいます。
- メモリ・テストについては、DRAM/NANDで微細化、高速化、容量増が進展するなど、新規テスト投資を見込める環境です。
- SSD市場をターゲットにした、NANDの新ファブ投資に期待しています。
- 今後伸びゆくNAND新プロトコル向けテストビジネスについては、顧客攻略、プロトコル対応が着実に進んでいます。

各事業の見通し

■ メカトロニクス関連事業



ナノテクノロジー

- ✓ 当社EB技術への関心が多く集まるなか、マーケティング活動強化で顧客拡大を図る

デバイス・インタフェース

- ✓ メモリ市況の悪化を受け厳しい環境入り、非メモリ・テスト向けのビジネス拡大で補う

テストハンドラ

- ✓ デバイス発熱対応や高低温試験対応のための温度コントロール技術への要求がハイエンド・ロジック、ハイエンド・メモリ向けで強い

ADVANTEST.

2016/4/27

All Rights Reserved - ADVANTEST CORPORATION

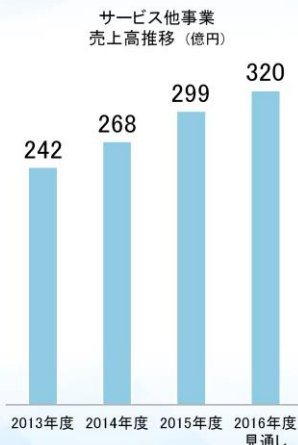
19

○ メカトロニクス関連事業の見通し

- ナノテクノロジー事業は、商談の引合い状況から今期は前期並みの業績を見込んでいます。
- 微細加工・計測ニーズが盛り上がるなか、当社のEB技術への関心や期待は引き続き高く、来期以降の成長に向け、半導体向け/非半導体向け問わず、マーケティングを強化していきます。
- デバイス・インタフェース事業は、メモリ市況悪化の影響を受け、売上減少を予想。非メモリ・テスト向けのビジネス拡大に拍車をかけ、メモリ向けの需要の落ち込みを補っていく計画です。
- ハンドラ市場では、デバイス発熱対応や高低温試験対応のための温度コントロール技術、微細なピッチのパッケージに対応する技術への要求が、ハイエンド・ロジック、ハイエンド・メモリ向けで強くなっています。

各事業の見通し

■ サービス他事業



フィールドサービス

- ✓ ポストセールス商材の拡充など、サービス収益の基盤強化を継続

SSDテスト

- ✓ 高速プロトコルを採用したSSDの増加により本格的なSSDテスト環境構築のニーズが伸長中

新市場向けハンドリング/コンタクト装置

- ✓ 車載用圧力センサの温度・圧力印加装置が大手自動車部品メーカーで採用。第2弾も準備中

ADVANTEST.

○ サービス他事業の見通し

- サービス他部門の中核のフィールド・サービス事業はここ数年、保守契約の拡大を基点に、収益を持続的に伸ばしてきました。
- 今後もポストセールス商材拡充の取り組みなど、収益基盤の強化を図っていきます。
- サービス以外の事業では、高速なプロトコルを採用したSSDが増え、SSDメーカーが行っている試験にも技術革新が求められているなか、SSDテスト事業の成長に期待しています。
- この技術革新とSSDの生産増が連動し、品質要求が厳しいエンタープライズSSD向けを中心に、本格的な市場が立ち上がると予想しています。
- この流れに乗って、今年もSSDテストの売上を伸ばしていきたい。
- また、新ハンドリング装置を昨年度から販売開始しています。デバイスの高精度な狭ピッチ対応や、温度や圧力条件などのテスト負荷環境を提供するものです。
- 2015年度は、車載用圧力センサの温度・圧力印加装置が大手自動車部品メーカーに採用されました。2016年度には、積層メモリ向け、狭ピッチ、高発熱デバイス対応を進めています。

ADVANTEST EXPO 2016

企業個展を開催
—アドバンテストの「計測技術」で未来をはかる—

最先端を

未来が

はかる  ミエル

ADVANTEST® EXPO 2016

2016年10月13日(木)~10月15日(土)
於:秋葉原UDX

ADVANTEST.

○ 最後に

- 今年2016年は、当社の個展を開催します。
- これまで当社が培ってきた先端計測技術を幅広くご紹介する予定です。
- 様々な分野のイノベーションを支える弊社の姿を、ぜひご覧いただきたい。